

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第165回

令和3年7～9月期 実績

令和3年10～12月期 予測



34商工会地域(白部分)

令和3年10月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内14商工会</p> <p>祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 231社</p> <p>製造業45 建設業46 小売業70 サービス業70</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和3年7月～9月期実績、及び令和3年10月～12月期の見通し
5. 調査時点	令和3年9月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- | | |
|----------|-----------------|
| 「横ばい」 | 0を基準に±2ポイント未満 |
| 「小幅、やや」 | 0を基準に±2～8ポイント未満 |
| 「大幅、大きく」 | 0を基準に±8ポイント以上 |
8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html
 - 中国財務局 (中国地方の経済情勢)
<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

1.ポイント

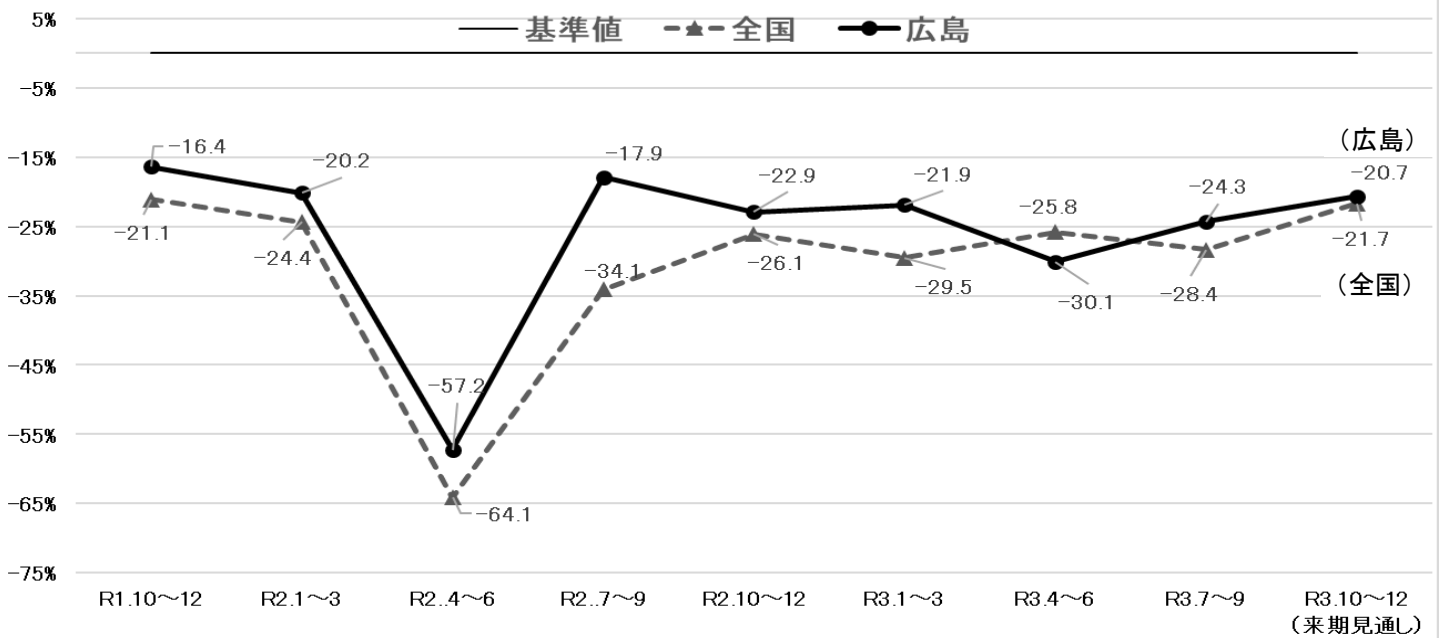
※(独)中小企業基盤整備機構「第165回中小企業景況調査(2021年7-9月期)のポイント」より

- ・中小企業の業況判断DIは、足踏みの中にも、一部業種に持ち直しの動きがみられる
- ・産業を問わず広がる仕入単価上昇の動き
- ・原材料価格が上昇する中での利益確保が課題

2.広島県と全国(全産業)

※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

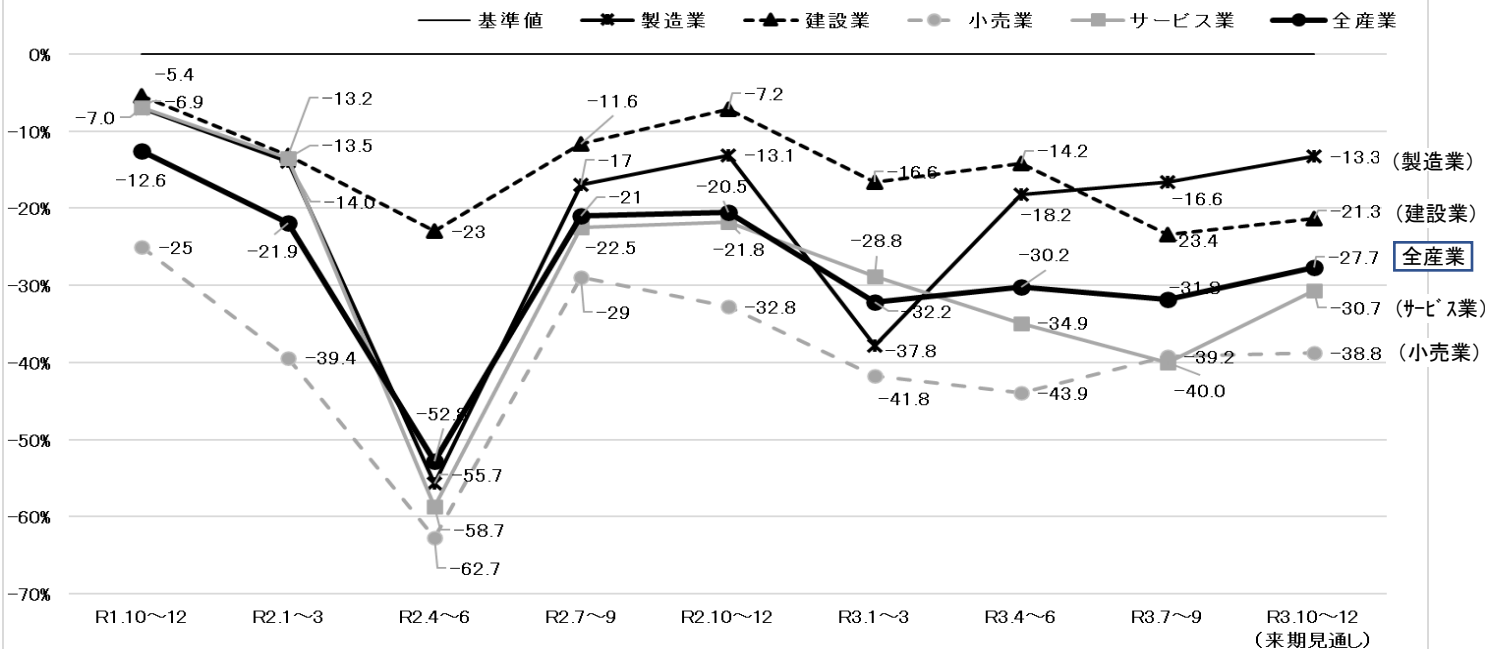
広島県と全国(全産業)業況DI推移 -前期比-



3.広島県(産業別)

※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 -前期比-



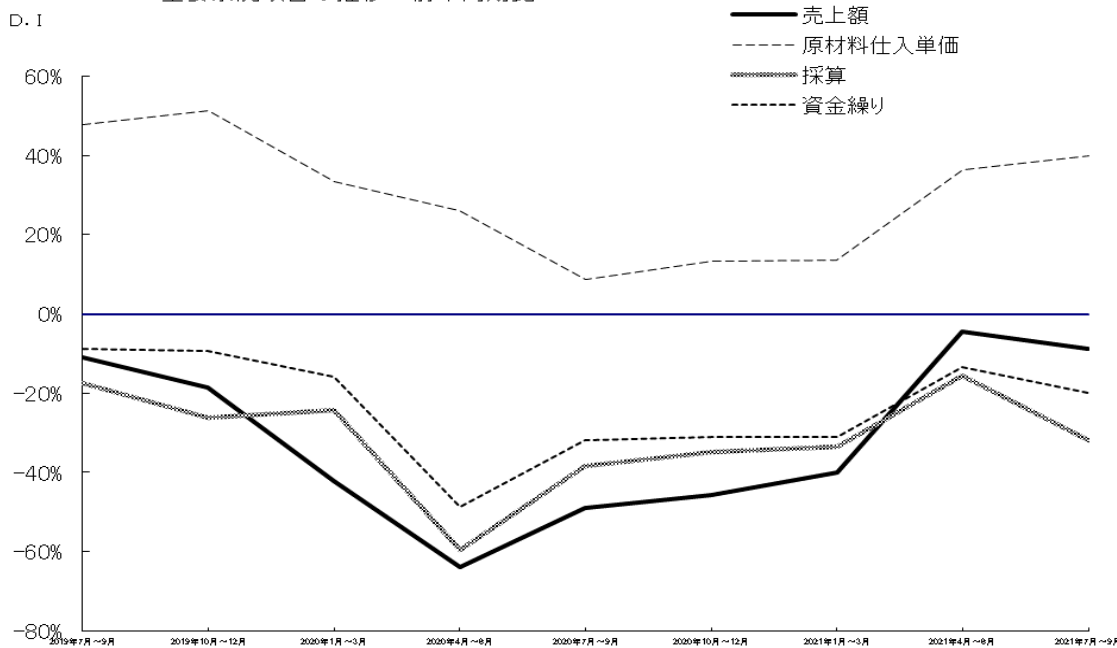
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R3.4~6	R3.7~9	前期との比較	R3.10~12	今期との比較			
売上額	-4.5	-8.9	↘	-6.6	↗			
原材料仕入単価	36.4	40.0	↗	40.0	→			
採算	-15.6	-31.8	↘	-20.0	↗			
資金繰り	-13.4	-20.0	↘	-13.3	↗			

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



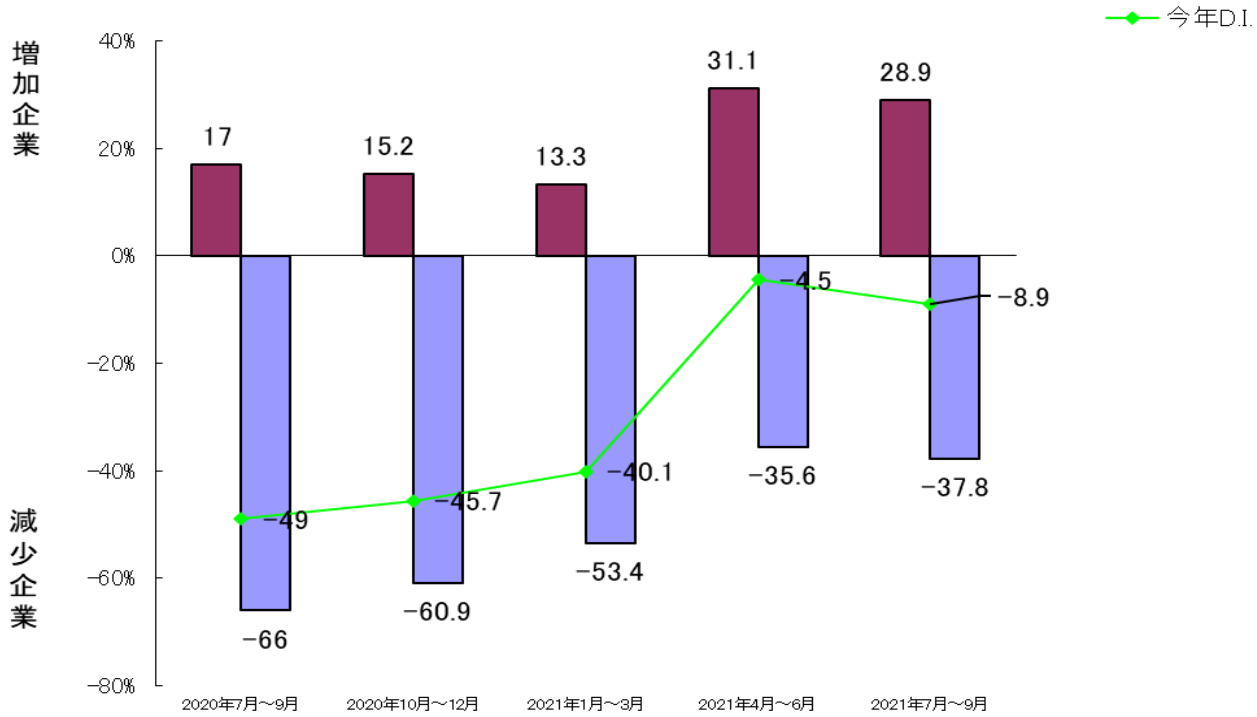
- 企業のコメント
- ・ コロナの影響でビンの生産調整が行われて2ヶ月入手できなくなっている。人の動きも少ないので需要も少なくなっている。/調味料製造業
 - ・ 前年の緊急事態宣言の時と比べると、注文量は回復している。一部の商品、特に土産品がお盆休み用に一時的に注文を頂いたが、休み明けには全く出なくなった。まだまだ見通しは悪い。/紙製品製造業
 - ・ 今期はコロナの影響も徐々に収束しつつあり、受注件数は増えてきているが、今後車関連のEV化が進むことにより、部品の数量、素材等、様々な変更がなされるため、先を想定した動きが必要とされ、大変難しい時期となる。/その他の生産用機械・同部分品製造業
 - ・ 原材料価格の上昇が止まらず、それに伴い客先への値上げ交渉に多大な時間を要しています。/金属成形材製品製造業
 - ・ コロナ・半導体等のマイナス要因がマツダの生産減少につながっている。いつまで続くか未定。/工業用プラスチック製品製造業
 - ・ 短納期の案件が増加している為、作業計画書での平準化が難しくなり、一時的に時間外対応による人件費の高騰が発生し、業況の好転にまで至っていない。/その他の鉄鋼業
 - ・ 委託加工は減少している。特殊加工については忙しく、納期遅れが発生して、設備はあるが人材不足のため4割位しか生産できていない。和紙部門は大口の受注が決まり、フル生産しても12月まで残業をして何とか間に合うよう努力する。/製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

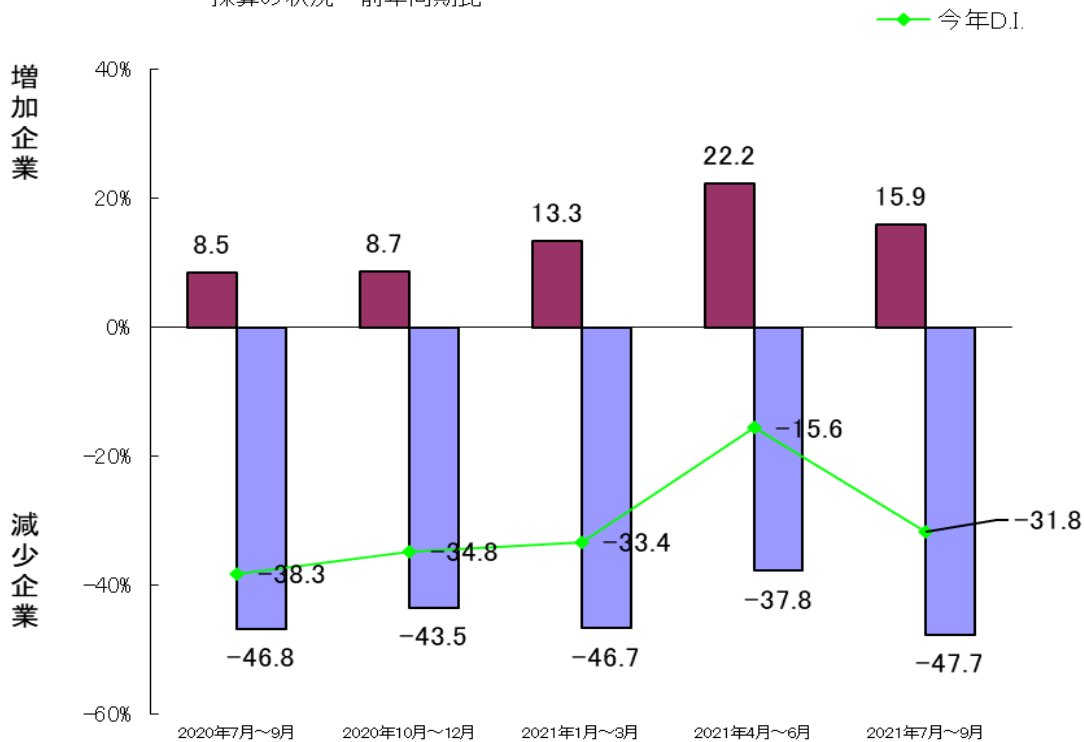
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

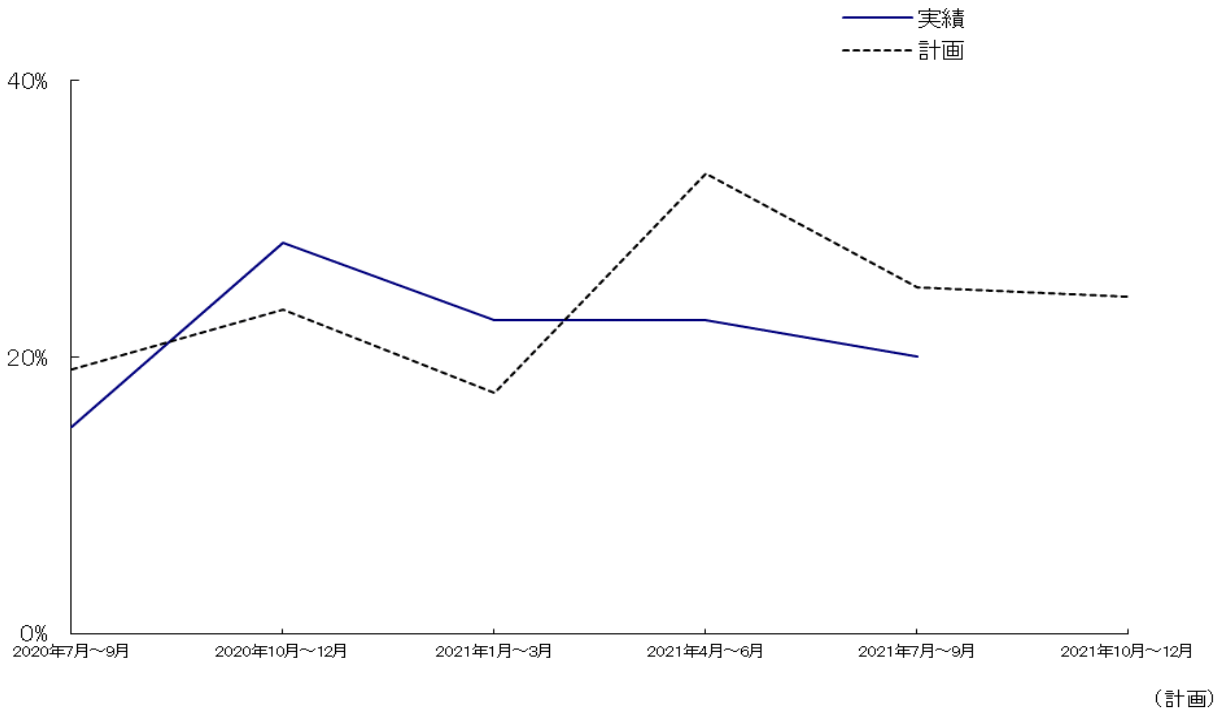
広島県 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -



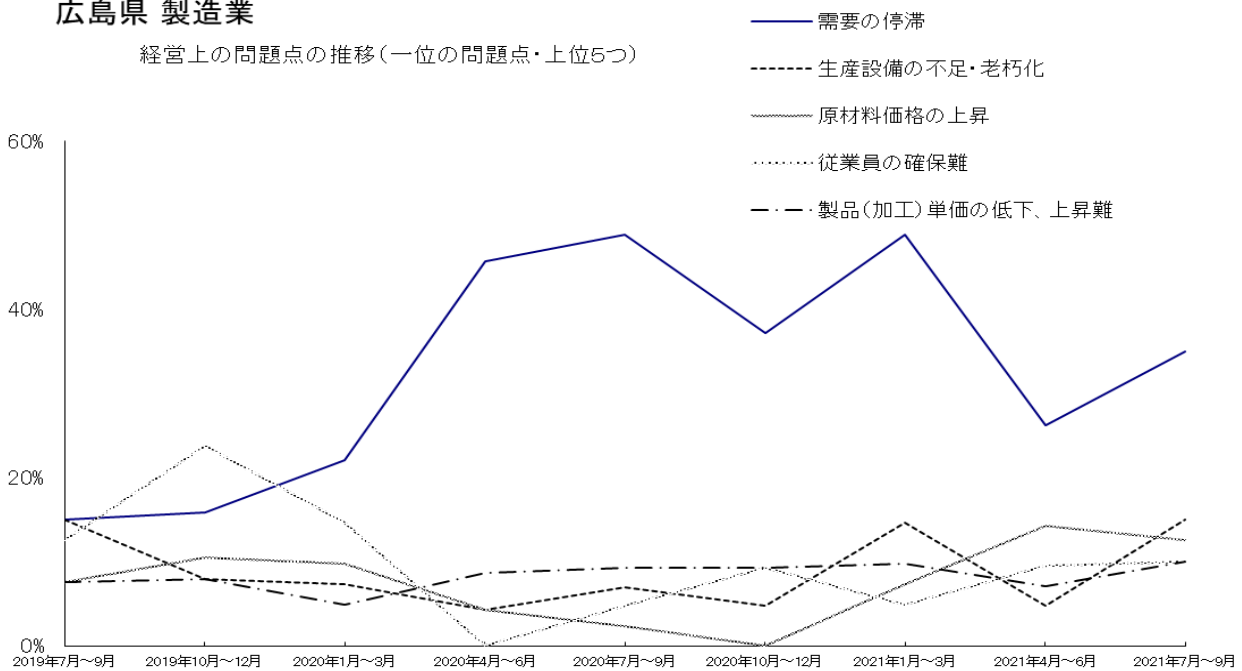
4.設備投資の状況

広島県 製造業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



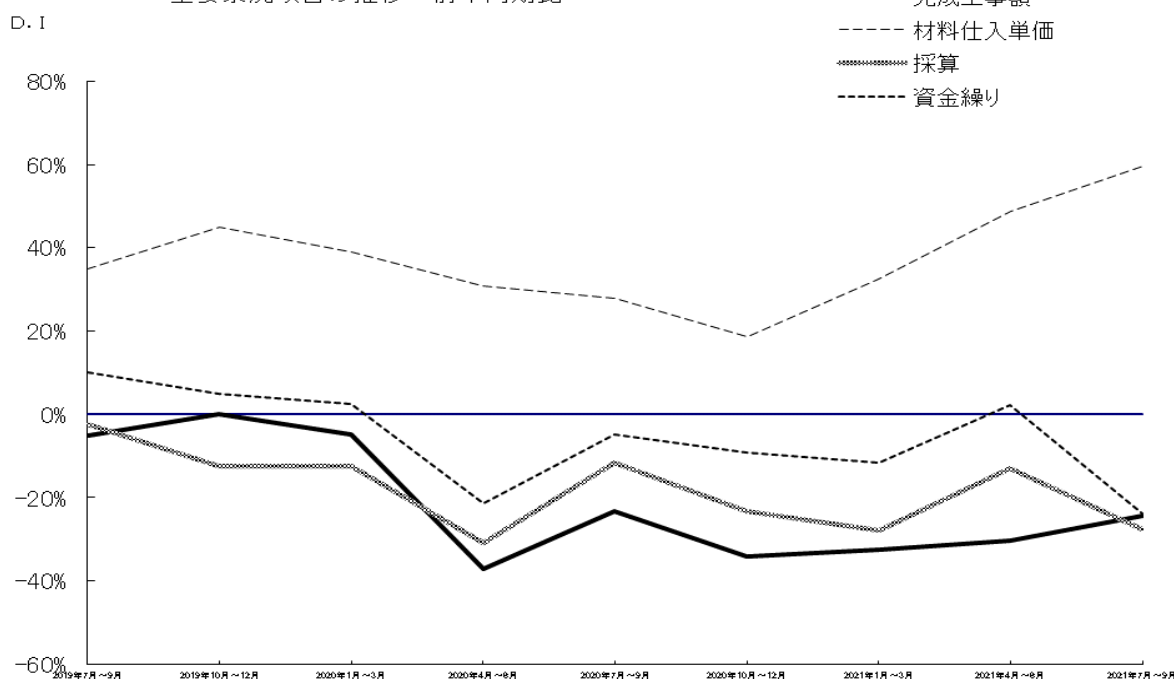
建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R3.4～6	R3.7～9	前期との比較	R3.10～12	今期との比較
売上額 （完成工事額）	-30.4	-24.4	↗	-17.4	↗	
材料仕入単価	48.9	59.6	↗	40.4	↘	
採算	-13.0	-27.7	↘	-29.8	↘	
資金繰り	2.1	-23.9	↘	-23.4	→	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



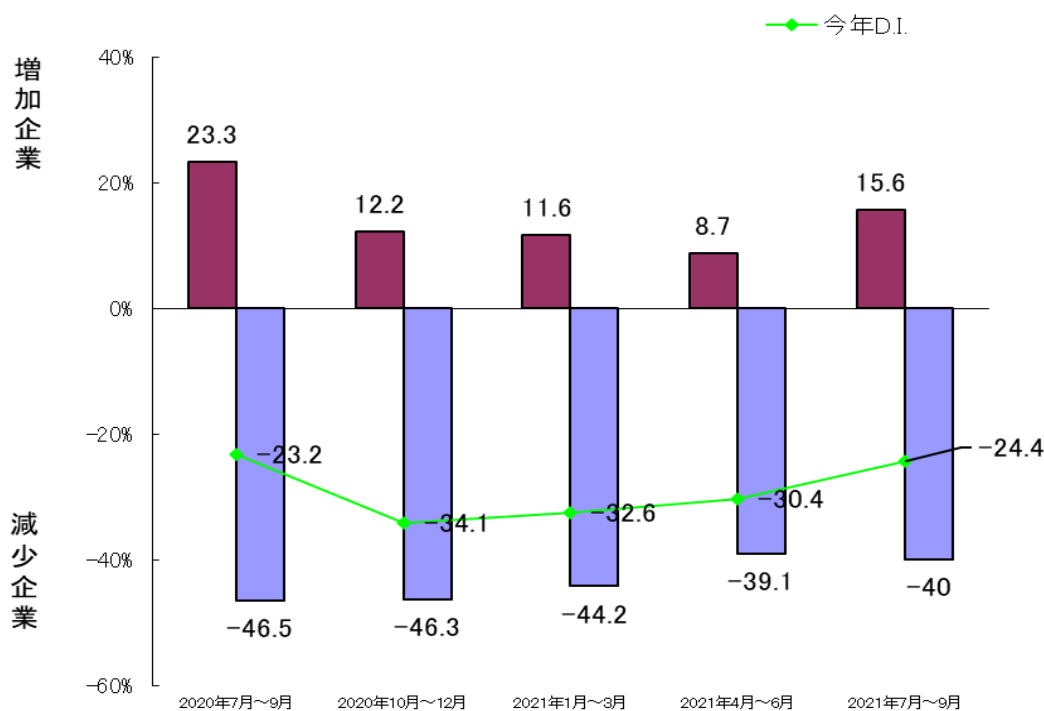
..... 企業のコメント

- ・ 新型コロナウイルスにより、施主の方が工事日程を延期して欲しいと要望があり、予定していた工事が出ないため、収入が少ない月がある。更にウッドショックにより、材料の入手が困難になっている。/大工工事業
- ・ 特に大きな変化はないが、材料の値上がりは少し心配ではある。/電気配線工事業
- ・ 当社は、公共工事が主体なので、今後コロナ感染症の影響で公共工事の減少(予算カット)が心配である。/一般土木建築工事業
- ・ ウッドショックの影響で材料の上昇や、木材の入手難で注文数が減ってきている。/大工工事業
- ・ 当社の仕事内容は、大体修理なので景気に左右されないもので、業況は開業から変わっていません。/給排水・衛生設備工事業

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

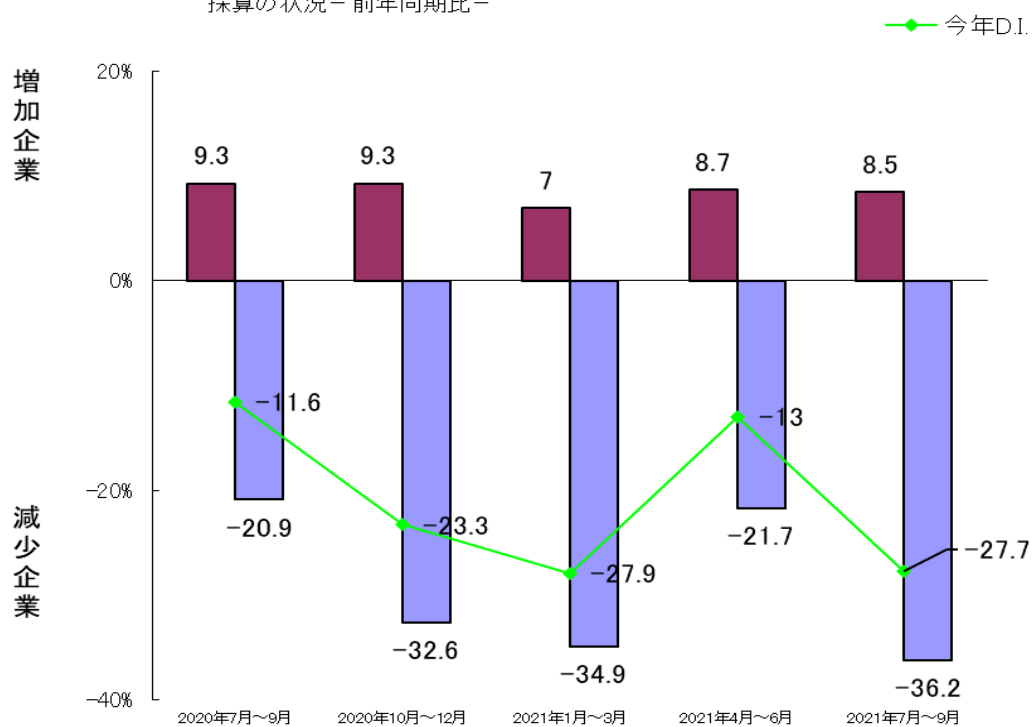
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

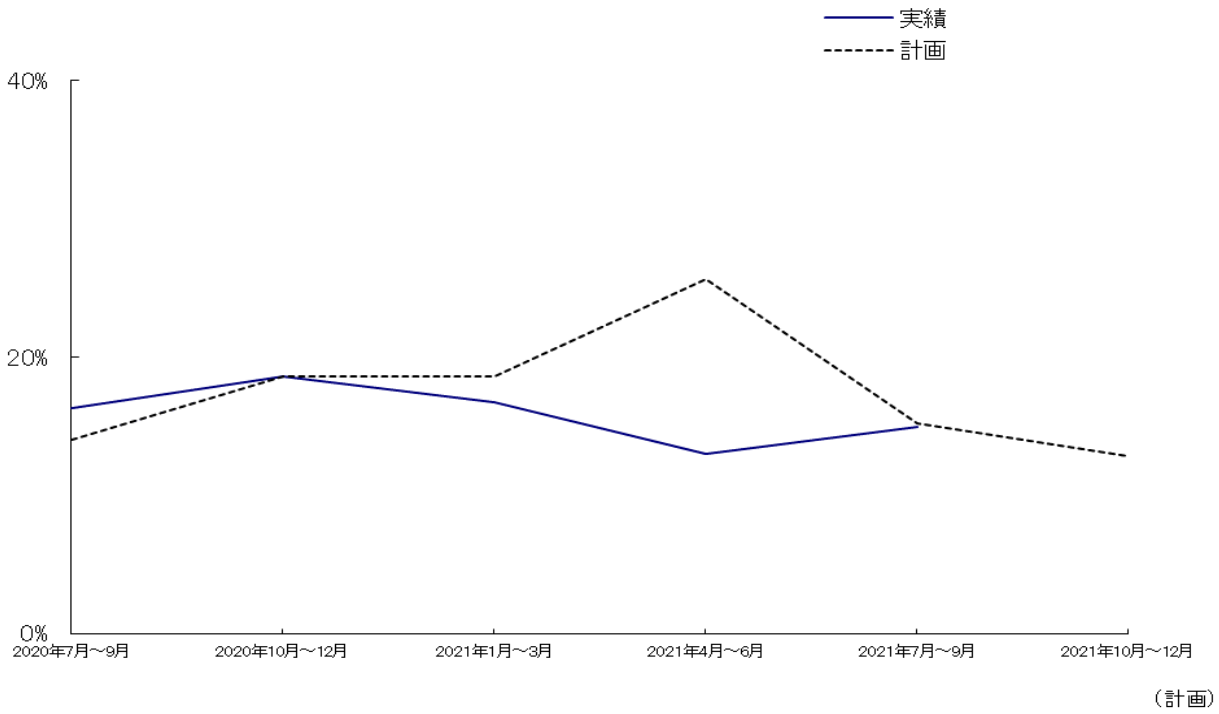
広島県 建設業

採算の状況-前年同期比-



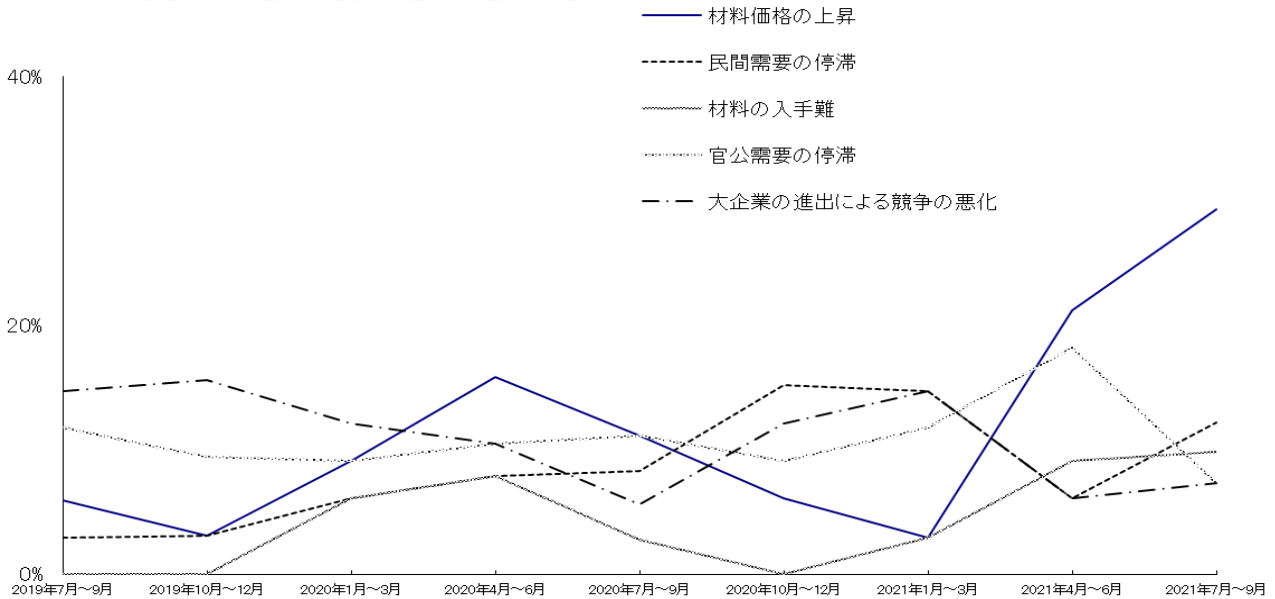
4.設備投資の状況

広島県 建設業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

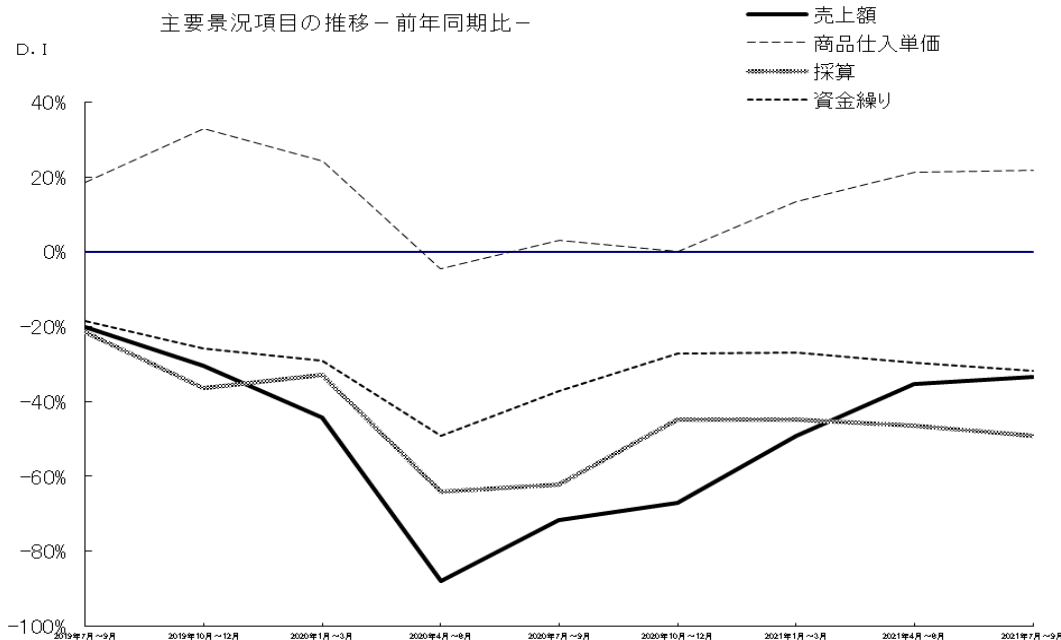


小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R3.4～6	R3.7～9	前期との比較	R3.10～12	今期との比較	
売上額	-35.2	-33.4	→	-43.5	↘	
商品仕入単価	21.4	21.7	→	20.3	→	
採算	-46.5	-49.3	↘	-47.9	→	
資金繰り	-29.6	-31.9	↘	-27.5	↗	

広島県 小売業



..... 企業のコメント

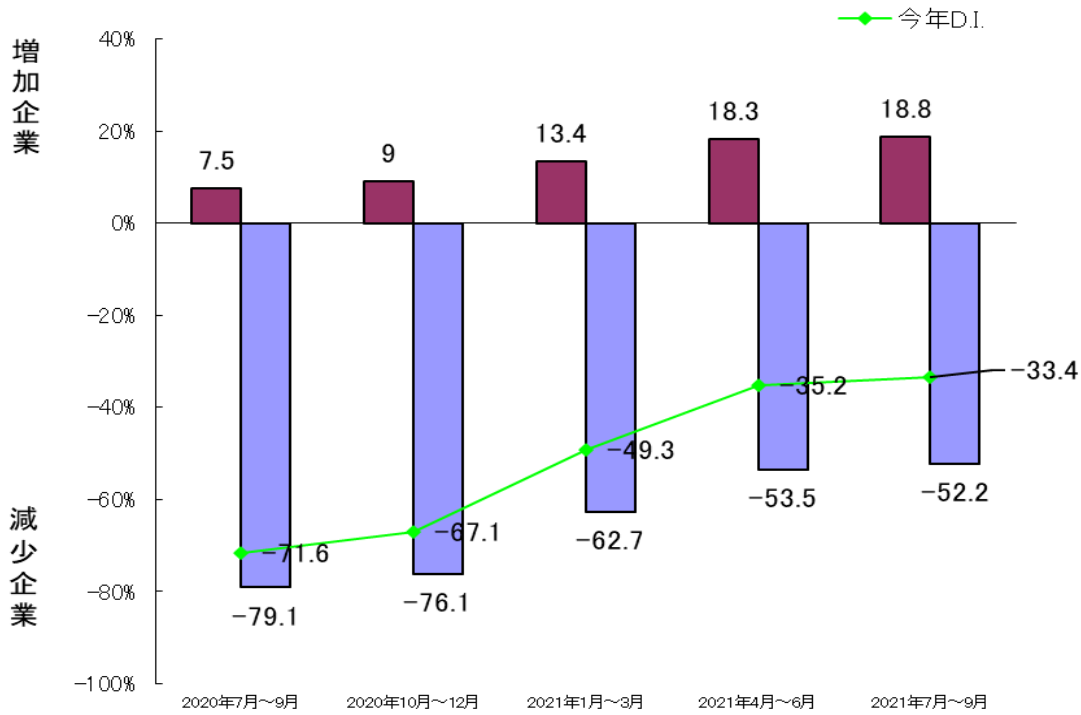
- ・ キャッシュレス決済が7月初めで終わり、極端に売上が減るかと思ったが、昨年に比べ商品単価が上がったこともあり、極端な減少は見られなかった。今期・来期はコロナの影響がどう出るか、全く見当がつかない。/燃料小売業
- ・ コロナ禍による慢性化した消費者の購買力の低下と、8月お盆時期の長雨による天候不順により売上がかなり減少している。プラス材料が見つからない。/その他の飲食料品小売業
- ・ 飲食店が殆ど休業の為、売上が低迷している。副業を考えている。/酒小売業
- ・ コロナ対応自粛の影響が大。客数の減少、地域イベント等は皆無。購買ムード停滞の状態。この状況は年末まで続くと感じている。/書籍・雑誌小売業（古本を除く）
- ・ 昨年よりは徐々に売上は増加していたが、8月のお盆時期の豪雨とコロナによる緊急事態宣言により、また、振り出しに戻った感がある。新しい取組がより大切になってくる。/その他の飲食料品小売業
- ・ 飼料や資材の価格上昇で大変です。/卵・鳥肉小売業
- ・ 外出自粛等に伴い、衣料品の売上が減少している。仕入先も仕入控えがあり、商品も揃いにくい。あわせて天候不順により、来客数が減少した。/婦人・子供服小売業
- ・ 脱炭素社会に向けたエネルギー市場動向の変化への対応を考えなければならない。/燃料小売業

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

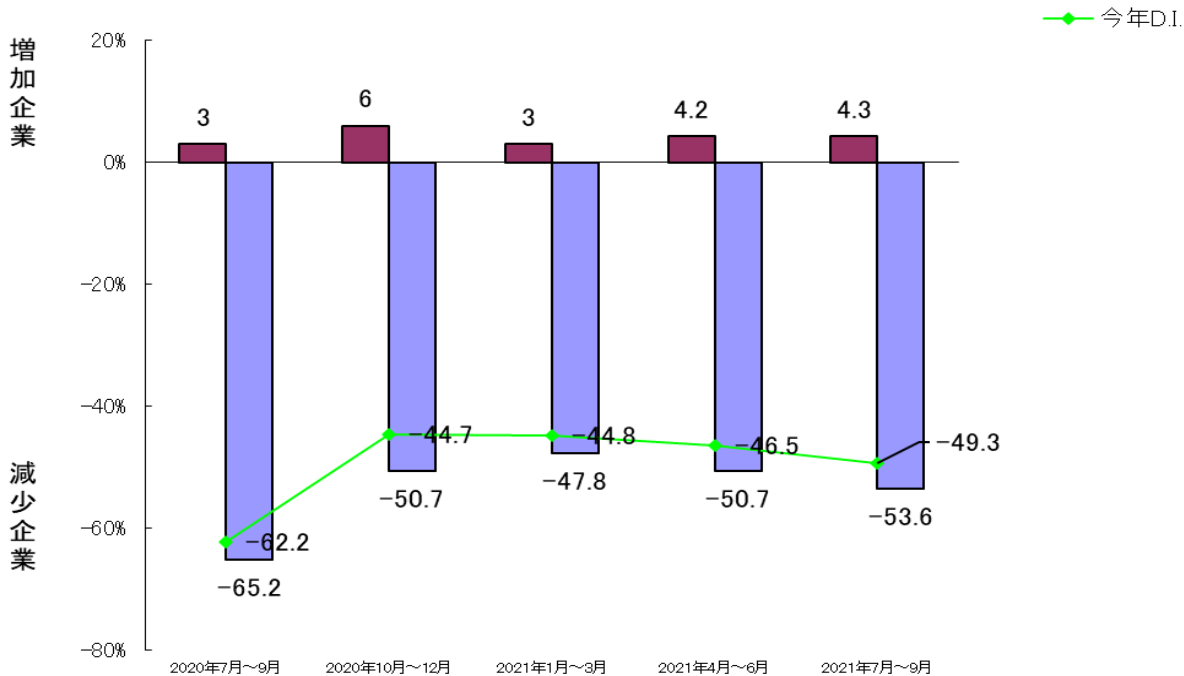
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

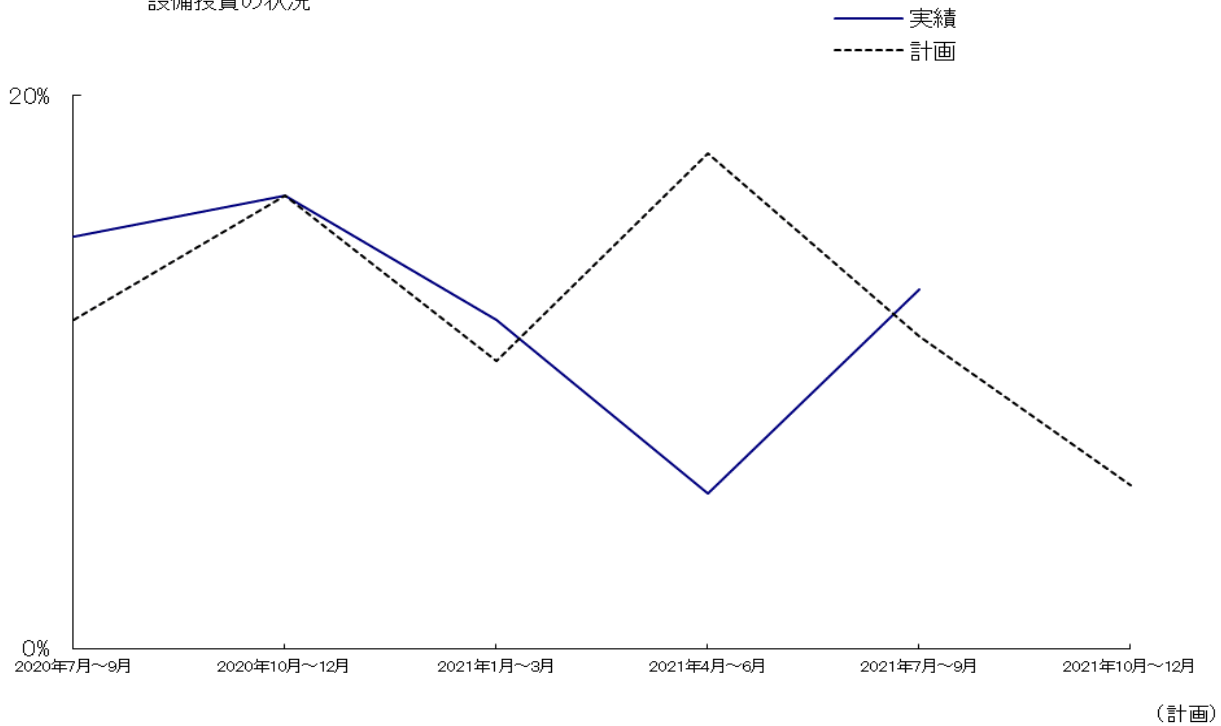


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島県 小売業

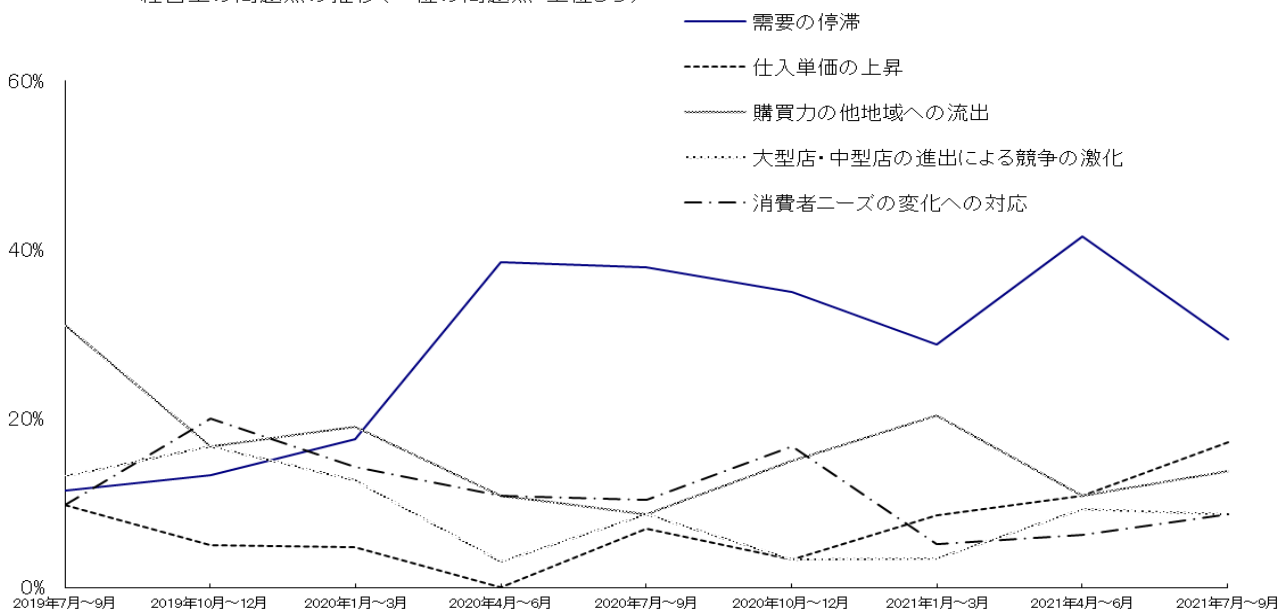
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移(一位の問題点・上位5つの推移)



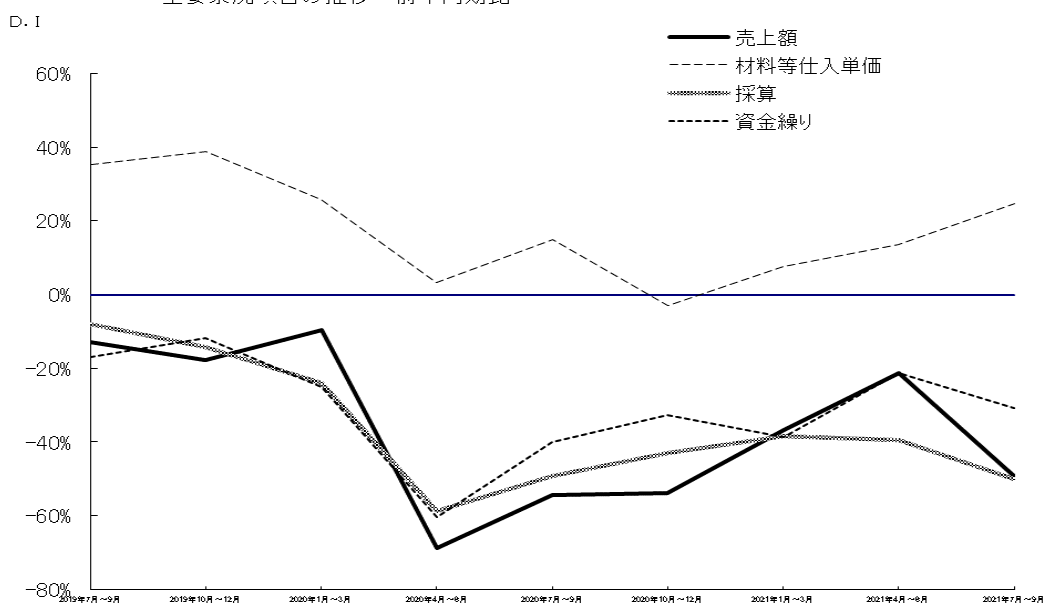
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI		（来期見通し）	
	（前期） R3.4～6	（今期） R3.7～9	前期との比較	R3.10～12 今期との比較
売上額	-21.2	-49.3	↓	-52.3 ↓
材料等仕入単価	13.6	24.6	↑	20.0 ↓
採算	-39.4	-50.0	↓	-41.5 ↑
資金繰り	-21.3	-30.8	↓	-27.7 ↑

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



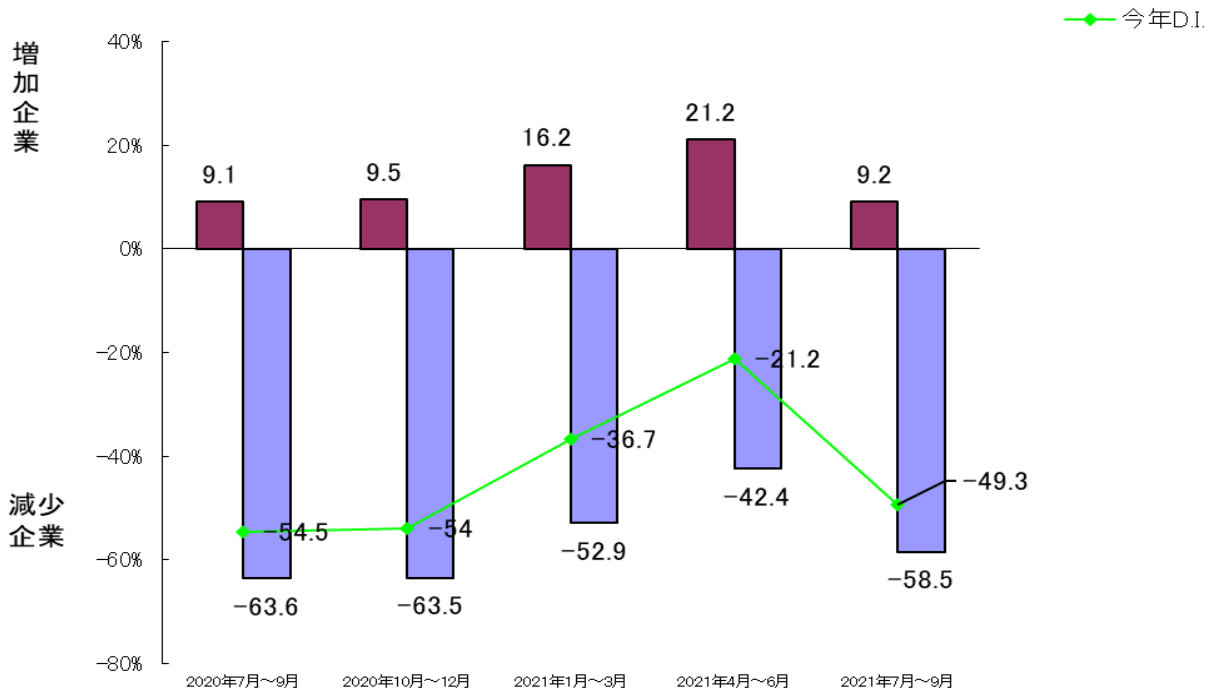
- 企業のコメント
- 今年3回目の緊急事態宣言により9月の売上が見込めません。町内で発券されるプレミアム券を利用して頂けるよう、新しく商品を作っていきたいと思っています。/食堂, レストラン(専門料理店を除く)
 - コロナ感染拡大が顕著で旅行者のマインドが低下。エージェントも雇用調整している先が多く、またこのような状況下で営業にも出掛けられない。お世話になっていたフロントも自主廃業が目立ちました。/旅館, ホテル
 - コロナウイルスの影響は薄い業種なので不変。敷地が手狭になってきたので土地購入も検討中。/自動車整備業
 - コロナで陸上職は求人倍率が下がっているが、海上は相変わらずどころか、以前にもまして人手不足が加速している。オリンピックも終わり、今後の景気が不透明であることから、新規の投資も難しい状況にある。/沿海海運業
 - 新型コロナの第5波に直面しており、松江道の利用者が大幅に減少。お盆期間の大雨も重なり、今期は前年対比でも減収減益の見込み。EC事業の強化など在宅ニーズに対応したサービスを拡大し補填したい。/その他の娯楽業
 - コロナ禍で人の動きが制限されているため、帰省などで世帯人数が増加することによる特需が全くない。緊急事態宣言がマスコミで報道されるたびに受注数が激減するなど、消費者の動揺が購買行動に大きく影響している。/お好み焼き・焼きそば・たこ焼店
 - オリンピックとパラリンピックでバスの要請を受けた為、業況は好転したが、終了と共に緊急事態宣言下となっている為、業況悪化は間違いないと思われる。/一般乗用旅客自動車運送業

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

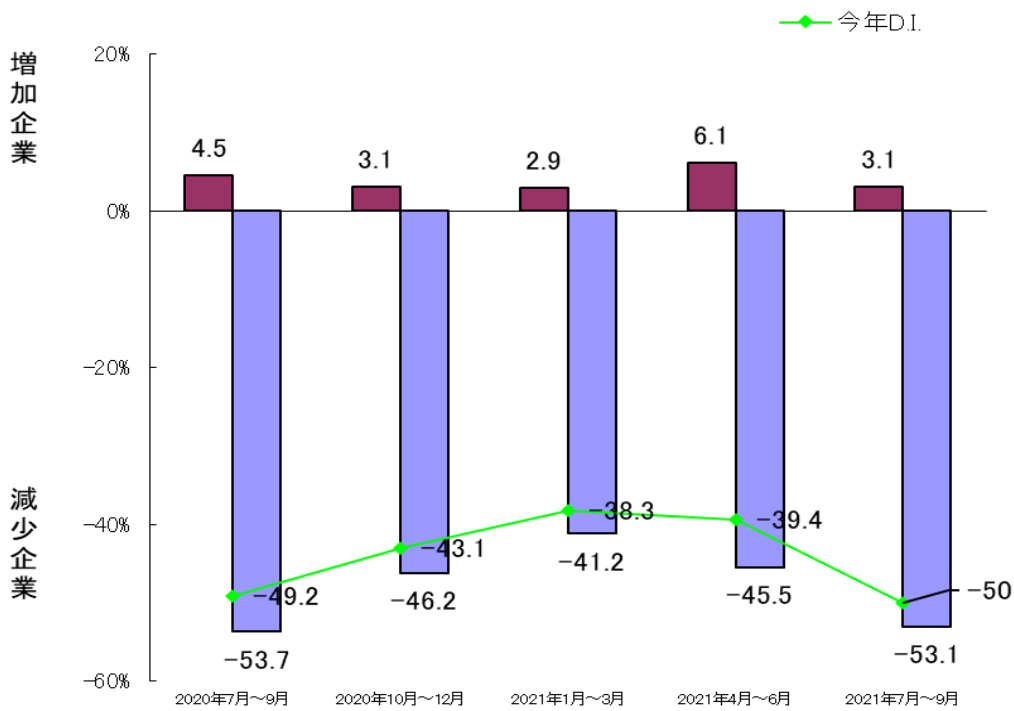
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

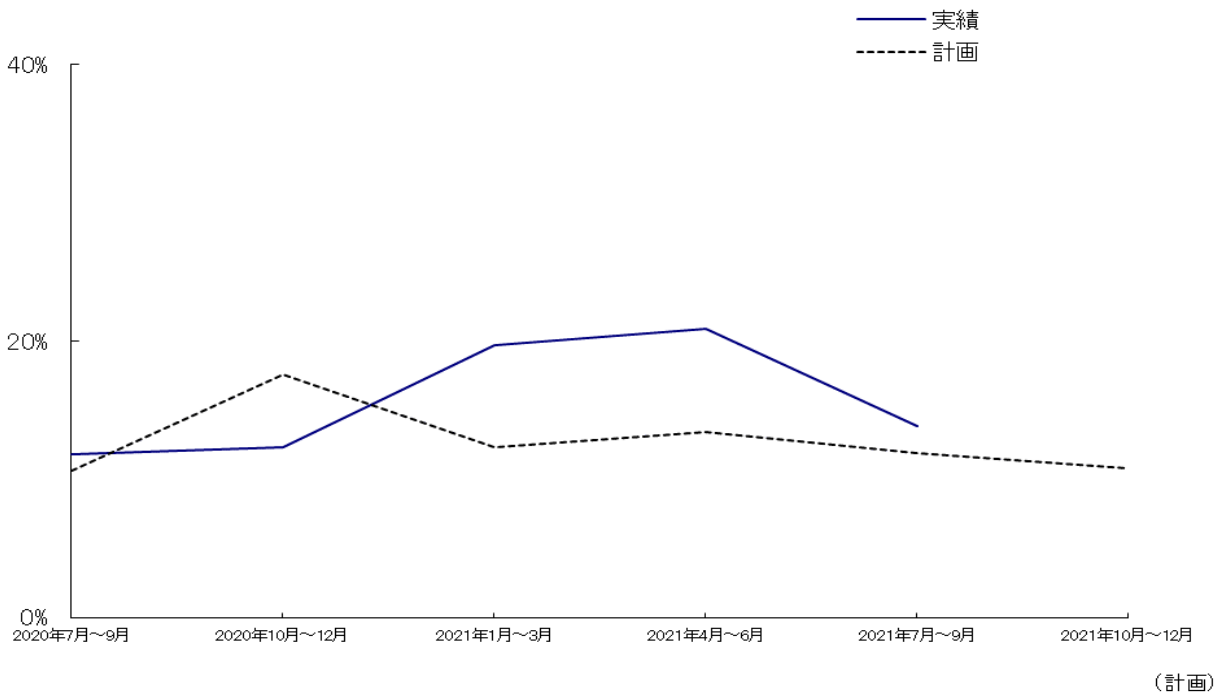
広島県 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

